



## 【巻頭言】

## 五色台の雪

一雪に変わりはないけれどー

園長 野田大燈

2 月中に五色台で 2 度の積雪がありました。北海道や東北と比較すると恥ずかしい程度の積雪だけに、胸を張って自慢たらしく「雪が積もった！」とは言えません。

それでも市街地ではほとんど積雪がなく、海拔 400 位の学園周辺だからです。

積雪は 1 度目が約 12 センチで 2 度目は 15 センチほどでした。

元旦より暖かく穏やかな日々が続いておりましたので「これで冬の寒さが許してくれるはずがない」と凍結防止剤を準備するなどして積雪時対応は整えておりました。

そして積雪になると、園生と職員が対照的な反応を示します。

園生たちは舞い落ちる雪を玄関のところかニコニコしながら眺めています。

それに反して職員は慌てて夫々の車を山の麓まで移動させます。

何故なら積雪のために車の走行ができなくなるからです。

職員が車移動のために動き出すのと並行して園生が園庭に飛び出して行きます。

先ずはお決まりの雪ボールを作って互いにぶつけ合いです。

雪遊びの定番は幾 100 年経てもかわらな

いようです。

翌朝の職員出勤時は学園所有の四輪駆動車が活躍し、麓より数回に分けて職員のピストン搬送です。

朝食も終えたその時刻の園生たちは、雪合戦にも飽きて雪だるま作りやかまくら作りに精を出しています。

朝礼時に担当職員から「学園への進入路が積雪のために通行できないので、全員で雪掻きをします」と告げると「えーっ！どうして…」と不満コールが起きます。

当然予測していたことですので「今日帰省を楽しみにしている園生を保護者の方がお迎えに来ますが、この雪ではお迎えに来られないので帰省が出来ません。だから皆で雪掻きをしましょう」と言うと「園長、では後でご褒美にハーブティを飲ませて！」と言う園生もいました。

雪掻きは雪の降り頻る中を園生・職員、そして隣接する喝破道場の塾生・職員計約 40 人が、全長約 300 メートルを除雪しました。

南海大地震が必ず訪れる、と言われて毎月避難訓練を行っていますが、想定 of 訓練よりも今回の除雪体験の方が悠に有効であったと思いました。

除雪を終えた午後の園庭には園生の姿が疎らでした。

遊び過ぎて着替えの衣服がなくなって園内で過ごしていました。学園の雪は教育的観点からしても必要なのです。

—了—

# 若竹学級だより

## 友とともに寒さに負けない心を育む

冬になると若竹学級のある五色台青峰には雪が無い、時には数 cm の積雪になることもあります。

### フィールドワーク



雪が降ったある日、子どもたちは連れだって山へ向かいます、サクッ、サクッと心地よい足音を聞きながら。途中で、雪だるまをついたり、ときには雪合戦をしたり、木を揺らして粉雪にまみれてみたり。

若竹学級の周りの坂は、格好のそりコースになります。中にはそりの上に立って滑る子もいました。

大人はぶるぶる震える寒さの中で、子どもたちは元気いっぱいです。

### ダンスレッスン

鍵を開けると、キーンと冷えた空気が一階ホールから流れてきます。火曜日 2 時間目は昨秋から取り組んでいるダンスレッスンです。

「今日、ダンスあるん？」

ダンスが得意な A 君が、朝の集会が終わると私に尋ねてきます。

「あるよ。新しい曲の練習をするみたい。」「やったあ！楽しみだな。」

A 君は、満面の笑みです。さらに曲がかかると彼の表情は一瞬にして真剣そのものになります。

40 分間のレッスンが終わると体からは湯気が立っています。踊りきったという満足感が彼の表情から見て分かります。

3 月には近くの老人福祉施設を訪問してお年寄りと交流することも考えています。



今年も本当に何度も雪が降りました。美術の時間に雪像づくりに取り組みました。

ある女子は、真っ白な雪に山茶花の花びらを添えたり、木の芽の汁で目を描いたりさまざまな工夫を加え、華やかでかわいらしい雪だるまをつくりました。

### わかたけ雪祭り 2014 開催！



中学 1 年美術の授業 課題ゆきだるま

# うどん作り

香川県の郷土料理に親しむことを目的として、手打ちうどん作りに挑戦しました。



生地を均等にのばす作業と、均等に切る作業が難しかったと話していました。しっぽくうどん(季節の野菜を汁と一緒に煮込んだうどん)にしておいしくいただきました。

# チョコレート作り

2 月 14 日に女兒でバレンタインチョコレート作りを行いました。今回挑戦したのは、三種類のトリュフ。板チョコを細かく砕いて鍋にいれ、生クリームを加え火にかけます。完全に溶けきったら、バットにうつします。



冷蔵庫で固め、等分に切り分けます。手で丸め、ココアパウダー・粉砂糖・キャラメルク

ランチをまぶします。



1 種類ずつ入れラッピングをして完成です。完成品の見た目、味にも満足していました。



# 節分

2 月 3 日は節分で恵方巻きを食べました。今年の恵方は東北東。恵方巻きを黙々と食べる姿が印象的でした。午後からは、季節の変わり目の邪気を払うために豆まきをしました。

子ども達は、新聞紙を丸め、職員が扮した鬼めがけて投げました。その後、厄除けと身体が丈夫になるよう、自分の年の数より一つずつ多く豆を食べました。

今年一年も、元気よく過ごせそうです。

# 雪遊び・雪かき



8 日・14 日に雪が降り、学園は一面雪景色になりました。子ども達は、そりすべり・雪だるま・かまくら作

りを楽しんでいました。

しかし、遊んでいるだけではありません。巻



頭でもご紹介したように、雪が降る寒い中、雪かきをがんばっていました。

# 園生作品紹介

雪の日に作りました。雪だるまならぬ、雪どろぶつ？



# 2月行事

- 3 日 節分
- 14 日 バレンタインチョコ作り
- 16 日 図書館
- 20 日 買物学習
- 22 日 太鼓練習
- 23 日 三種別スポーツ大会
- 27・28 日 お別れ旅行



## 外来子ども相談

子育てに関する悩み・不安などを専門スタッフがご相談をお受けします。ご家族や学校関係のみのご相談も受け付けております。相談は無料です。予約制になっておりますので、まずはお電話にてご連絡ください。

月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 5 時

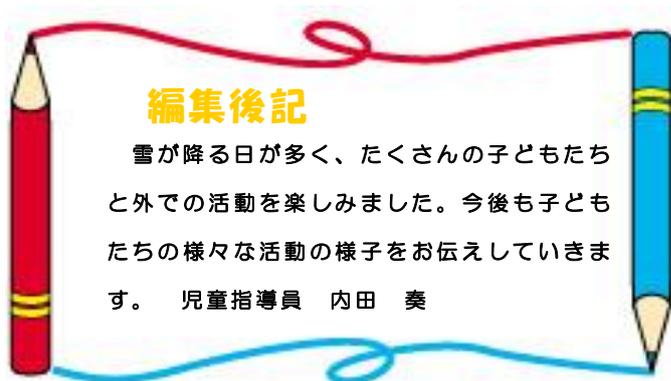
電話：087-882-1000

秘密は厳守します。



## 編集後記

雪が降る日が多く、たくさんのお子どもたちと外での活動を楽しみました。今後も子どもたちの様々な活動の様子をお伝えしていきます。 児童指導員 内田 奏



～御寄附ありがとうございました～

地方紙正月連合企画係

河内 佑太様

本

松岡 玲子様

犬の餌

匿名 (郵送にて)

5,000 円

第 241 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://netwave.or.jp/~wakatake/>

Eメール [wakatake@mail.netwave.or.jp](mailto:wakatake@mail.netwave.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈